

水土里レポート

投稿月日	令和7年12月11日
タイトル	清掃・蛍の幼虫放流・水質検査出前授業を通した環境学習
水土里レポーター名	水土里ネット吉井川下流 前田明彦

令和7年10月3日(金)、毎年恒例の「蛍の幼虫の放流会」を開催しました。当改良区管内の岡山市立御休(みやす)小学校5年生が参加し、学区内を流れる水路に蛍の幼虫を放流しました。



農村環境課職員の説明



放流前の幼虫観察

まず、中国四国農政局農村環境課の職員から、蛍の幼虫について分かりやすく説明をしていただきいた後、放流する幼虫の観察を行いました。児童たちは、直接幼虫に触れてみたり、脱皮したての体が白い幼虫を見つけたりして、発見を共有しながら楽しく過ごしました。



用水路清掃活動

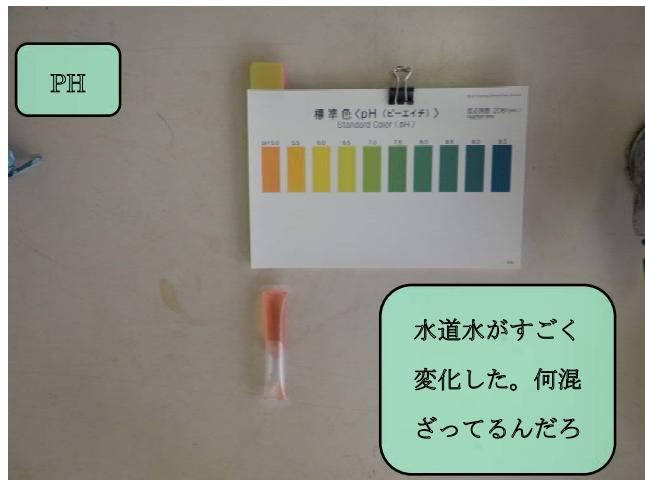


その後、用水路の清掃を行いましたが、10月に入った用水路は冷たく、小雨の中、熱心に清掃をしてくれました。



そして、来年の6月に飛び姿を想像しながら放流しました。

放流後は、学校にて水質検査の出前授業を行い、用水を汚さないとの大切さを伝えました。



各班は、それぞれ水道水に何かを混入させた水を検査し、担任の先生は、幼虫を放流した場所の水を検査しました。それだから色々な反応が出てきたことに驚いていました。



最後に農林水産省の職員による「ジュニア農林白書2025」をもとにクイズ形式で食料自給率やお米の生産についてお話をいただき、学びを深めました。